



JAPAN AIRLINES



SKYWARD

May 2017

5

スペイン Spain

オリーブ、太陽の贈り物

香港 Hong Kong

モダンジェントルマンの街

大分県 Oita

国東半島、
神と仏の御座す場所

JALの機内エンターテインメント、
音楽・ビデオは151ページをご覧ください。
ご搭乗のお客さまはご自由にお持ち帰りください。

JAL が取り組む
新しい空への挑戦を
皆さまにお伝えします

世界に1台の JAL CARGO専用トラックが運用開始

JALの貨物部門を担うJAL CARGOは、航空機用コンテナを一度に14台搭載できる、世界に1台のトラック、通称『+8』について、開発した平野ロジスティクス社と専用利用契約を結び、今年2月1日より、そのトラックに社名ロゴを入れ、羽田空港と成田空港間で運用を開始しました。

国際航空貨物は飛行機だけでなく、トラックで空港間を陸上輸送されることもあります。日本各地の荷主さまから海外へ運ぶ貨物をお預かりしていますが、貨物室スペースの利便性から、いったん飛行機で羽田空港に運んで国際線に接続したり、羽田空港から成田空港まで陸上輸送して海外へ運ぶことが多くあります。一方、海外の荷主さまの場合、日本を經由して海外の目的地へ貨物を輸送する際は、羽田空港を発着する国際線が増えていることもあり、海外から成田空港に到着後、陸路で羽田空港に輸送してから飛行機に積んで、また別の国へお届けするケースなども増えています。こうした現状から、羽田・成田両空港間の陸上輸送の需要

が増加。そこで、JAL CARGOはより荷動きを円滑にし、効率的に多くの貨物を輸送できる方法を模索した結果、『+8』の専用利用契約に至りました。

従来のトラックは最大6台のコンテナを積めますが、『+8』は上下二段に積むなどの工夫をこらすことで、8台多い14台も搭載でき、輸送コストと燃料消費の抑制も実現できます。「JALのニーズと、平野ロジスティクスさまの利便性の高いトラックを造りたいという思いが合致。そういった斬新な発想と、その実現に向け挑戦する姿勢にJAL CARGOが共感し、これまでにない社名ロゴを入れた専用トラックとして契約させていただきました」と語るのは貨物郵便本部の長田^{おきたあきら}彬。さらに「物流は輸送に携わる多くの企業や人々が一緒になって成り立つもの。皆さまからのお力添えをいただきながら、これからも日本と世界を結ぶ物流の橋渡しとして、貢献していきたいです」と続けます。

今後もJAL CARGOは、より多くのお客さま、荷主さまに喜んでいただけるよう、取り組んでまいります。



01. 車両の高さ制限を守るため低床に。トラックには「JL9950」のように飛行機と同じく、便名が付いている。02. 上下二段にコンテナを積める構造に。

■航空貨物輸送についての詳細は
下記ウェブサイトをご覧ください。
www.jal.co.jp/jalcargo/